

技術家庭科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

【生活を工夫し創造する能力】

生活の工夫・改善の基礎となる、丁寧に課題に取り組む姿勢を養う。

学年	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術…技能を身に着ける上で必要な「聞く力」「実践力」の弱い生徒が少なからずおり、丁寧に取り組む姿勢に欠ける。</li> <li>家庭…授業に集中できず、課題に対して取り組みが遅れる生徒がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術…コンピュータ実習において、指導内容に沿って実習に取り組むよう個別指導を行う。実習内容をきちんと評価して自覚と自信を持たせる。</li> <li>家庭…授業にメリハリをつけ集中できるように促す。評価基準を明確に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術…2学期のコンピュータ実習で実施</li> <li>家庭…2学期被服実習で実施</li> </ul>	<p>技家ともに実習に主体的に取り組む姿勢を身に付け、習慣化することができた。</p>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術…5月実施の栽培実習において、1週間の継続した育成管理を行えなかった生徒が少なくない。</li> <li>家庭…工夫してひとりで物事を成し遂げようとする力が欠けている生徒が少なくない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術…行程や作業内容を理解した上で、ていねいに課題をやり遂げさせることを追求する。</li> <li>家庭…課題の中で工夫できる部分を提示し、自らの考えを生かせる授業形態にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術…2学期のエネルギー変換実習で実施する。</li> <li>家庭…住居の実習で実施</li> </ul>	<p>技術については実習ではなく、普通教室での授業に主体的に取り組む工夫を行った。</p> <p>家庭科は計画に沿って目的とする効果を得ることができた。</p>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術…単元テストに移項したところ、得点率6割以上の生徒が52%（昨年1学期より-3ポイント）。一方、20%未満の生徒が18.6%（同-9.4ポイント）だった。</li> <li>家庭…学習したことを実生活に生かしたり、工夫したりする力が身につけていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術…授業が2週に1回という現状を踏まえ、授業開始時に復習を行い、連続性を意識して指導する。</li> <li>家庭…自分、または友達の考えをまとめ、実践できるような課題設定を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術…2学期実習において実施</li> <li>家庭…実1～2学期の保育の授業で実施。（幼児のおもちゃ製作等）</li> </ul>	<p>技術は改善策にそって授業を行ったが、時間がかかる。家庭学習課題として定着させたい。</p> <p>家庭科は計画に沿って目的とする効果を得ることができた。</p>

■主体的・対話的で深い学びに関連して  
 1年…基礎技能の徹底追求（「1mm未満への挑戦」）  
 2年…グループを活用した製作・発表  
 3年…資料読み取りをベースにした製作

■小中一貫教育共通プログラムに関連して  
 全学年 … あいさつの徹底  
 課題の明示(板書)  
 家庭学習課題による生徒個別の振り返り

